

令和6年度 わかりやすい 瑞穂市の市政方針

～まちの将来像～

誰もが未来を描けるまち 瑞穂



令和6年度 瑞穂市の市政方針にあたって

令和6年度予算においては、第2次総合計画の後期計画の4年目として、引き続き瑞穂市の将来像“誰もが未来を描けるまち 瑞穂”を達成するため計画期間内に着実に進めていきます。

そこで、瑞穂市の市政方針として、3つの方針を進めます。

1点目は、地方創生の3つの拠点をさらに飛躍させていきます。

まず、サンコーパレットパークですが、官民がそれぞれの手法を用いて企画し、市内外から多くの人が訪れるなど、集客、関係人口・交流人口を増やす拠点として定着しました。さらに、美江寺宿、小簾紅園を結ぶ市北西部のにぎわいを創出する“中山道まちづくり基本構想”を進めます。

次に、犀川遊水地整備事業は、昨年実施した社会実験の結果などを踏まえ、犀川遊水地グリーンインフラ基本構想を実現するための「(仮称)犀川・五六川周辺かわまちづくり計画」の策定に向けて進めます。

最後に、JR穂積駅周辺整備事業は、「瑞穂市JR穂積駅周辺整備基本計画」に基づき、駅南地区の土地区画整理事業の実施に向けた都市計画決定の手続きや地権者協議会での計画検討等を進めます。また、JR穂積駅へのアクセス道路の整備として、(主)北方多度線の別府交差点改良事業を継続事業として計画どおり進めます。

2点目は、昨年、市制施行20年という節目を迎え、次代を担う世代につないでいくため「人権」「平和」「環境」の3つの都市宣言をすることができました。

今年度は、この3つの宣言によるアクションプランを進めるとともに、今後10年先の社会情勢を見据えた「第3次総合計画」、「都市計画マスタープラン」、「子ども計画」をはじめ、どんな瑞穂市にしていかなければならないのかを考えた「みずほ未来まちづくり構想2035」を策定する年になります。

3点目は、私のマニフェストである“健幸都市みずほ”の施策の推進です。市民の皆様が健康で生きがいを持ち、幸せに暮らせることを実現するため、幸せを感じる機会をより多く設けることが、行政の役割と考えています。昨年度から引き続き、老人福祉・児童福祉の充実について、着実に進めます。

さらに、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による将来人口推計が昨年末に公表され、瑞穂市の2035年の人口は56,740人と前回より503人減少しています。また、人口戦略会議による地方自治体「持続可能性」分析が公表され、瑞穂市は県内では美濃加茂市とともに2050年までの人口減少率が20%未満ではありますが、自然減対策が必要であるとの分析がなされました。

人口減少対策は広範にわたりますが、瑞穂市の現状をよく分析した人口減少対策を、人口が増えている、今の時期に実施できるメリットを生かしたまちづくりを総合的に進めてまいります。



瑞穂市長 森 和 之

目 次

- 予算規模……………2
- 一般会計歳入……………3
- 一般会計歳出……………4
- 今年度の主要事業一覧…5

- 各部ごとの事業…7
 - 企画部……………7
 - 総務部……………9
 - 市民部……………9
 - 巢南庁舎管理部…10
 - 健康福祉部…………10
 - 都市整備部…………11
 - 環境水道部…………14
 - 教育委員会…………15

瑞穂市の予算規模

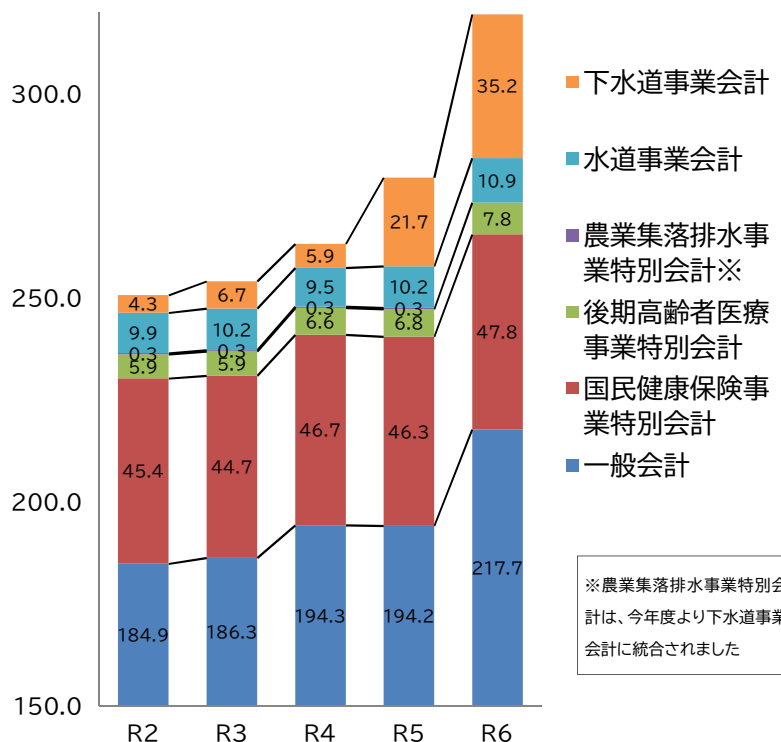
■ 当初予算額の推移（億円）

今年度の当初予算総額

319億4,299万円

（前年比 39億9,258万円増）

今年度は一般会計をはじめ、各会計予算が前年比増額となり、総額で過去最大となりました。



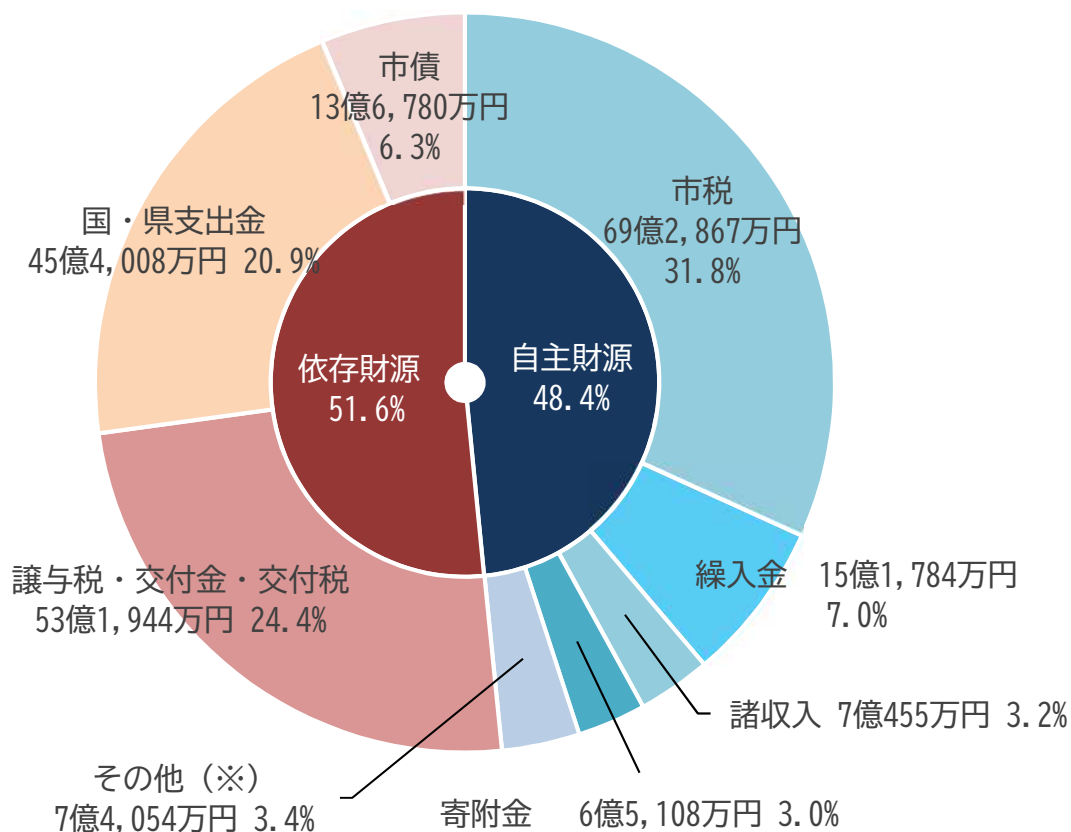
■ 各会計の予算規模

区分		予算額	前年比(増減額)	事業内容
一般会計		217億7,000万円	23億5,000万円	福祉、子育て、教育、道路や公園の整備などの市民の暮らしやまちづくりに必要な基本的な行政サービス
特別会計	国民健康保険事業	47億8,207万円	1億5,390万円	国民健康保険に加入しているかたの医療費を給付
	後期高齢者医療事業	7億8,171万円	9,740万円	75歳以上のかたの医療費を給付
企業会計	水道事業	10億8,580万円	6,864万円	水道水の供給 水源地・水道管の整備・維持管理
	下水道事業	35億2,341万円	13億4,980万円	雨水・汚水管の整備・維持管理 下水処理場の施設整備

一般会計 歳入

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、金融機関などからの借入れや施設の使用料などがあります。約48%が自主財源です。自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の大部分は市税です。

今年度、市税については国による定額減税による減収を見込んでおりますが、国・県支出金や繰入金、市債等は増額となる見込みです。



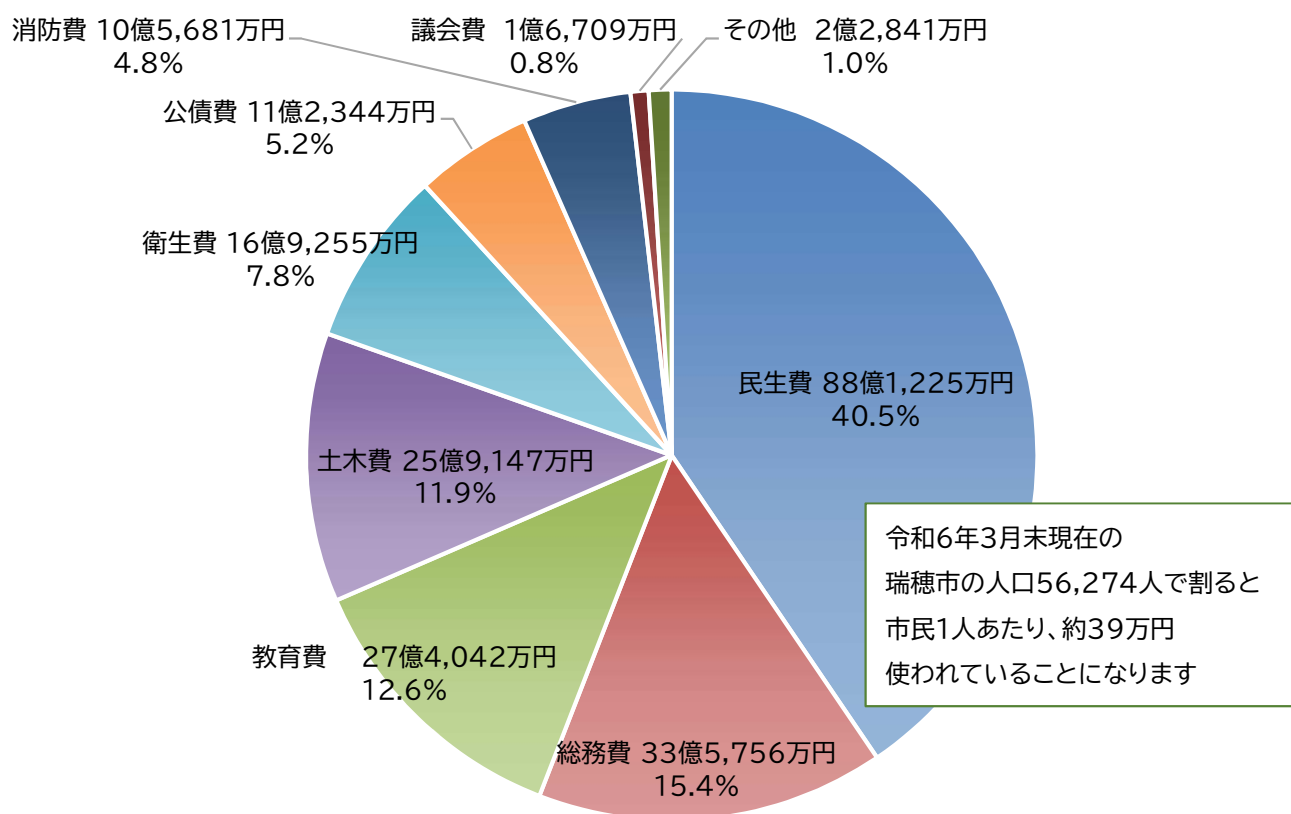
※その他 財産収入・使用料手数料・分担金負担金・繰越金

区 分	R6予算額(円)	前年度比	
		増減額(円)	増減率
地方交付税	32億3,700万	2億9,300万	10.0%
地方譲与税	1億9,944万	1,154万	6.1%
各種交付金	18億8,300万	2億8,422万	17.8%
国・県支出金	45億4,008万	6億4,871万	16.7%
市債	13億6,780万	7億5,180万	122.0%
依存財源合計	112億2,732万	19億8,928万	15.0%

区 分	R6予算額(円)	前年度比	
		増減額(円)	増減率
市税	69億2,867万	△1億4,582万	△2.1%
繰入金	15億1,784万	3億3,960万	28.8%
諸収入	7億455万	8,805万	14.3%
分担金・使用料等	4億2,450万	1,874万	4.6%
寄附金	6億5,108万	5,100万	8.5%
その他	3億1,604万	916万	3.0%
自主財源合計	105億4,268万	3億6,073万	3.1%

一般会計 歳出

歳出では、扶助費を中心とした社会保障経費の伸びによる障害者福祉費、老人福祉費、保育所費などの増額により民生費が大きく増加しており、全体の約4割を占めています。他にも総務費は基金積立の増により、土木費は道路維持費や河川施設整備費の増により増額となっています。



※その他 労働費・農林水産業費・商工費・予備費

	R6予算額(円)	前年比	
		増減額(円)	増減率
議会費	1億6,709万	572万	3.5%
総務費	33億5,756万	4億1,258万	14.0%
民生費	88億1,225万	10億128万	12.8%
衛生費	16億9,255万	△3,278万	△1.9%
労働費	500万	0万	0.0%
農林水産業費	1億3,443万	△2,931万	△17.9%
商工費	4,898万	△2,355万	△32.5%
土木費	25億9,147万	7億541万	37.4%
消防費	10億5,681万	1億2,847万	13.8%
教育費	27億4,042万	2億2,627万	9.0%
公債費	11億2,344万	△5,409万	△4.6%
予備費	4,000万	1,000万	33.3%

今年度の主要事業一覧

ウェルビーイングみずほ ～持続的な幸福の実現～

今年度の市の主要事業です。
この中から一部事業を抜粋して、7ページ以降に掲載しております。

1 地方創生の3つの拠点の飛躍

- JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業【企画部】
- JR穂積駅周辺整備事業【都市整備部】
- 中山道まちづくり基本構想推進事業【教育委員会】
- かわまちづくり計画策定業務【都市整備部】

2 人権・平和・環境をテーマに次代を担う人たちへ繋ぐ

- 拡充** 電気自動車導入事業【総務部】
- 拡充** EV車充電設備設置事業【巢南庁舎管理部】
- 人権啓発活動推進事業(モニュメント設置)
【健康福祉部】
- 平和推進事業(被爆アオギリ二世植樹)【企画部】
- LED化事業
- 新規** 巢南庁舎電灯設備改修(LED化)事業
【巢南庁舎管理部】
- 新規** 街路灯等LED取替工事【都市整備部】
- 拡充** 保育所LED照明更新【教育委員会】

3 みずほ未来まちづくり構想2035

- 新規** 総合計画策定事業【企画部】
- 新規** 子ども計画策定事業【健康福祉部】
- 都市計画マスタープラン作成【都市整備部】

4 こどもまんなか応援

- 新規** 子ども家庭センター事業【健康福祉部】
- いじめ未然防止教育推進事業【教育委員会】
- 拡充** 教育相談事業(不登校対策)【教育委員会】
- 英語教育の推進【教育委員会】
- 新規** 水泳指導委託事業(生津小学校)【教育委員会】
- 拡充** 私立保育所補助金【教育委員会】
- 新規** 保育業務支援システム構築(保育所ICT化)
【教育委員会】
- 新規** 地域クラブ活動の推進【教育委員会】

5

防災・災害への対策

拡充 防災備蓄の充実、避難所への給水対策
【企画部】

○防災行政無線デジタル化整備工事【企画部】

○防災士養成講座委託【企画部】

○牛牧排水機場改修事業【都市整備部】

○内水浸水想定区域図作成事業【環境水道部】

新規 中学校体育館空調設備整備【教育委員会】

6

安心・安全なまちづくり

○(仮称)美江寺歩道橋第1期整備事業【都市整備部】

○祖父江市道5-1184号線歩道整備工事【都市整備部】

○別府交差点改良事業(継続事業)【都市整備部】

○交通安全施設工事
(区画線、道路反射鏡、注意看板等)【都市整備部】

○水路転落防止柵工事【都市整備部】

○橋りょう長寿命化事業【都市整備部】

○内水浸水想定区域図作成事業【環境水道部】

7

健やかに安心して暮らせるまち

○地域振興組織補助【企画部】

新規 高齢者の保健事業と介護予防の
一体的実施事業【健康福祉部】

○後期高齢者医療
日本一健康な歯「9020」の実現事業【市民部】

拡充 糖尿病対策・慢性腎臓病対策事業
【健康福祉部】

新規 「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催
【教育委員会】

拡充 瑞穂大学健幸学部の講義の充実
【教育委員会】

8

その他の事業

○公共交通事業【企画部】

○移住促進事業【企画部】

○ふるさと応援寄付金報奨事業【企画部】

○岐阜県知事選挙【総務部】

拡充 庁舎建設基金積立事業【総務部】

○平成改製原附表データセットアップ事業【市民部】

○コンビニ交付サービス導入推進事業【市民部】

○ねんりんピック岐阜2025運営事業【健康福祉部】

新規 特定不妊治療費(先進医療)助成事業
【健康福祉部】

○土地改良施設維持管理事業【都市整備部】

○商工業振興事業【都市整備部】

○地域振興券事業【都市整備部】

○塵芥処理事業【環境水道部】

○上水道施設整備事業【環境水道部】

○公共下水道(瑞穂処理区)【環境水道部】

・ 下水処理場整備事業

・ 汚水管路施設整備事業

○生涯学習施設等改修(各施設管理)【教育委員会】

企画部

総合政策課・市民協働安全課

公共交通事業 1億215万円

【総合政策課】

(県費 267万円、ふるさと基金1億円)

市民の重要な移動手段の一つとして定着している「みずほバス」及び広域的な移動手段である路線バスの運行負担金、樽見鉄道への補助金を交付する。

交通弱者の移動手段の確保やJR穂積駅への交通結節点の強化を目指す。



移住促進事業 850万円

【総合政策課】

(県費 500万円)

東京圏からの移住支援金、清流の国ぎふ移住支援金、結婚新生活支援補助金制度により市への移住促進を直接的に補助する。

新規 総合計画策定事業 1,342万円

【総合政策課】

(ふるさと基金 1,000万円)

令和6～7年度にかけ「瑞穂市第3次総合計画」(計画期間:令和8年度～)の策定を行う。また、令和6年度は、「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(計画期間:令和7～12年度)の策定も合わせて行う。

JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業 1,730万円

【総合政策課】

(国庫275万円、ふるさと基金1,000万円)

穂積駅周辺の活性化、利便性の向上などを掲げる「JR穂積駅圏域拠点化構想」を推進する。

拡充 ふるさと応援寄附金報奨事業 3億2,500万円 【総合政策課】

市外からの寄附金納付者に返礼品等を贈呈する事業。返礼品等の購入費、配送費、PR費、事務運営に係る手数料及び委託費が主な費用である。



拡充 防災備蓄の充実・避難所への給水対策 1,969万円
(県費 50万円) 【市民協働安全課】

備蓄食料品の入れ替え購入に加え、要配慮者・女性・子どもに配慮した備蓄品の追加及び簡易トイレなどの備蓄資機材の充実を図る。飲料水の供給が不能となった場合の応急用資機材として、給水に必要な簡易給水タンクの購入などにより避難所への給水対策を進める。



防災行政無線デジタル化整備工事 5,893万円 【市民協働安全課】
(市債 5,890万円)

防災施設の充実を図るため、市内全域の防災行政無線の子局(牛牧小校区5局、穂積小校区5局)のデジタル化を計画的に整備する。

防災士養成講座委託 319万円 【市民協働安全課】

地域防災力の要となる防災リーダー等の人材育成を図り、地域の組織体制を強化していく。

地域振興組織補助 1,500万円 【市民協働安全課】

まちづくり基本条例に基づき、地域社会における自治意識を醸成し、住民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、各校区別に生涯学習、防災、福祉活動を通じた地域コミュニティの充実及び活性化を図るために交付する。

総務部

総務課・財務情報課

岐阜県知事選挙費 1,868万円

【総務課】

(県費 1,868万円)

任期満了に伴う岐阜県知事選挙を執行する。

拡充 庁舎建設基金積立事業 3億円

【財務情報課】

令和14年度の供用を目指して令和6年度からは3億円を基金に積み立てる。

拡充 電気自動車導入事業 257万円

【財務情報課】

(市債 230万円)



地球温暖化対策として、脱炭素化事業債を活用し、クリーンエネルギー自動車を導入する。

市民部

市民課・税務課・医療保険課

コンビニ交付サービス導入推進事業 1,050万円

【市民課】

(手数料 352万円)

市民の利便性の向上と庁舎窓口の混雑緩和を図るため、マイナンバーカードを活用した住民サービス向上の一環として、コンビニエンスストア等に設置された複合機にて住民票の写し等を発行するサービスを推進する。



新規 平成改製原附票データセットアップ事業 891万円

【市民課】

戸籍の電算化に伴い、電算化以前に作成された戸籍の附票を紙のまま保存し証明発行していたことから、長期間の保存を可能とするため電子データによる保存へ切り替える。

後期高齢者医療 日本一健康な歯「9020」の実現事業 26万円

【医療保険課】

健康で質の高い生活を営むためには、日常生活における歯科疾患の予防に向けた取り組みが極めて有効とされている。「健幸都市みずほ」の政策の一つとして、90歳以上の方で自分の歯を20本以上保っている方を表彰する。

巢南庁舎管理部

市民窓口課

新規 巢南庁舎電灯設備改修(LED化)事業 3,960万円 【市民窓口課】

拡充 EV車充電設備設置事業 75万円 【市民窓口課】

(市債 3,620万円)

地球温暖化対策として、脱炭素化事業債を活用し、巢南庁舎内照明器具のLED化並びにクリーンエネルギー自動車の導入に対応するためEV車充電設備を設置する。

健康福祉部

福祉生活課・子ども支援課
地域福祉高齢課・健康推進課

新規 こども家庭センター事業 2,199万円 【子ども支援課】

(国庫940万円、県費247万円、ふるさと基金100万円)

子ども家庭総合支援拠点事業
相談・調査・訪問等による継続的な
ソーシャルワーク業務を適切に実施

子育て世代包括支援センター事業
妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、健康の保
持及び増進の包括的な支援を行う

こども家庭センター事業

妊娠期から子育て期にわたる子育て家庭に対し相談支援・家庭支援を一体的な組織として実施

子育てに関する行政サービス情報を発信するアプリや、産前産後時の家庭の育児や家事を訪問等によりサポートする事業も新たに開始する。

新規 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 410万円

(諸収入179万円)

【地域福祉高齢課】

生活習慣病等の重症化予防と、在宅で自立した生活を送る高齢者の増加を目標として、後期高齢者医療制度の被保険者に対して通いの場等への積極的な関与と個別的支援を行う。

ねんりんピック岐阜2025運営事業 90万円

【地域福祉高齢課】

令和7年 岐阜県にて
第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)開催

市では・・・
ソフトテニスといきいきオレンジビクス体操を実施する。



新規 特定不妊治療費(先進医療)助成事業 250万円

【健康推進課】

令和4年4月1日より不妊治療が保険適用され、市では、少子化対策の一環として、現行の「瑞穂市特定不妊治療費助成事業」を廃止し、保険診療の特定不妊治療と併用して実施された先進医療にかかった費用を助成する。

拡充 糖尿病対策・慢性腎臓病対策事業 79万円

【健康推進課】

糖尿病や慢性腎臓病(CKD)予防対策の充実を図るため、健康教育委託事業に血糖分析アドバイスサービスを新たに導入する。他、医療機関への受診勧奨・保健指導を計画的に実施する。

都市整備部

都市開発課・都市管理課
穂積駅圏域拠点整備課・商工農政観光課

牛牧排水機場改修事業 1億1,000万円

【都市開発課】

(市債 1億1,000万円)

近年の激甚化・頻発化する自然災害から市街地の安全を確保するため、国が実施する犀川遊水地事業にあわせて牛牧排水機場の整備を委託する。

(仮称)美江寺歩道橋第1期整備事業 8,009万円

【都市開発課】

(国庫3,600万円、市債3,240万円、公共施設整備基金1,000万円)

歩行者等の安全確保を図るため、国の社会資本整備総合交付金事業を活用し、一級河川犀川に架かる美江寺橋に併設する歩道橋の整備を行う。



祖父江市道5-1184号線歩道整備工事 3,832万円

【都市開発課】

(国庫1,916万円、市債1,720万円)

国の社会資本整備総合交付金事業を活用し、指定通学路となっている市道の歩道整備を行い、児童の安全確保を図る。

交通安全施設工事(区画線、道路反射鏡、注意看板、水路転落防止柵等)

2,681万円 【都市管理課】

安全な道路環境を維持するため、区画線や道路反射鏡の更新を実施する。

また、生活道路の安全性の向上のため、小中学校の指定通学路や宅地開発が進んでいる地域に水路転落防止柵の設置を実施する。

新規 街路灯等LED取替工事 1億2,611万円

【都市管理課】

(市債1億1,350万円)

地球温暖化対策の脱炭素に向けた取り組みとして、既設街路灯等の灯具をLEDに更新する。

橋りょう長寿命化事業 4,059万円

【都市管理課】

(国庫 2,057万円、市債 790万円)

橋りょう長寿命化計画に基づき1橋修繕工事を実施するとともに、市内にある2m以上の橋りょう598橋のうち120橋について点検を実施する。

JR穂積駅周辺整備事業 6,050万円

【穂積駅圏域拠点整備課】

(ふるさと基金6,000万円)

JR穂積駅周辺の魅力向上や多様な課題に対応するため、「瑞穂市JR穂積駅周辺整備基本計画」に基づき、駅南地区の土地区画整理事業の実施に向けた都市計画決定の手続きや地権者協議会での計画検討等を計画的に進める。

別府交差点改良事業(継続事業) 4,839万円

【穂積駅圏域拠点整備課】

(国庫 2,503万円 市債 1,840万円)

主要地方道北方多度線の別府交差点を変則五差路から四差路の形状へと改良することにより、円滑な道路交通や歩行者等の安全性の向上を図る。



土地改良施設維持管理事業費 3,050万円

【商工農政観光課】

(県費3万円、諸収入1,517万円)

土地改良施設維持管理適正化事業を活用して、揚水機場等の土地改良施設の更新や、今後の更新に向けた資金拠出等を行う。令和6年度は、東只越揚水機場、野白第2揚水機場の整備補修を行う。

商工業振興事業費 2,000万円

【商工農政観光課】

(県費10万円)

商工業の振興のため、商工会の事業支援のほか、企業立地促進のための工場等設置奨励金、中小企業の活動の資金供給のための中小企業融資利子補給補助金を実施する。

地域振興券事業費 854万円

【商工農政観光課】

(諸収入750万円)

市民に給付する報償金等を、市内店舗の利用に限定した地域振興券(かきりん振興券)で交付し、地域経済の活性化と消費喚起を図る。地域振興券は購入を希望する自治会や団体などにも等価販売している。



環境水道部

環境課・上水道課・下水道課

塵芥処理事業 7億5,501万円

【環境課】

(使用料1万円、手数料9,520万円、寄附金8万円、諸収入2,742万円)

廃棄物の適正処理やリサイクルのため、分別収集や空き容器自動回収機を運用し、廃棄物の収集・運搬・処理を行う。

上水道施設整備事業 4億1,686万円

【上水道課】

(他会計負担金1億6,996万円)

「安全」、「維持」、「強靱」の観点からなる施策を実施し、市民のライフラインとして持続可能な事業運営を推進する。

主な事業としては・・・

水源地内設備更新工事 ・ 重要給水施設管路耐震化工事 ・ 基幹・幹線管路網更新工事
配水管改良工事(老朽管の更新) ・ 配水管拡張工事

公共下水道(瑞穂処理区)汚水管路施設整備事業 16億6,013万円

(国庫5億9,300万円、企業債9億6,900万円)

【下水道課】

公共下水道(瑞穂処理区)下水処理場整備事業 14億3,001万円

(国庫7億6,600万円、企業債5億9,200万円)

【下水道課】

都市の健全な発達、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全のために、公共下水道の汚水管路施設整備及び下水処理場(アクアパークみずほ)の整備を行う。



内水浸水想定区域図作成事業 1,696万円

【下水道課】

(国庫690万円)

浸水に対する避難行動や日ごろの防災意識の向上のために、大雨時に水路など雨水を排除する施設からの浸水が想定される区域や浸水する深さの情報をまとめた図面の作成を行う。

教育委員会

教育総務課・学校教育課
幼児教育課・生涯学習課・給食センター

拡充 保育所LED照明更新(保育施設整備費) 2,530万円 【教育総務課】

(市債2,270万円)

保育環境の改善と、脱炭素社会に向けた環境負荷削減の取組みとして保育施設の照明をLED照明に更新する。

新規 中学校体育館空調設備の整備 3億6,086万円 【教育総務課】

(市債3億6,080万円)

災害発生時における指定緊急避難場所の防災機能強化対策において年々その必要性が高まってきているため、市内全ての中学校体育館に空調設備を整備する。



いじめ未然防止教育推進事業 396万円 【学校教育課】

「いじめの未然防止、望ましい人間関係づくり」を目的として、小学3年から中学3年を対象とした学級集団アンケートを実施する。

アンケート実施後には講師を招き、結果の分析方法、学級経営や個に応じた支援について学び、指導に生かす。

拡充 教育相談事業(不登校対策) 1,180万円 【学校教育課】

市内に年間30日以上欠席をする児童・生徒が、小学校で70名ほど、中学校で90名ほどいる。そのうち毎年10名程度が市教育支援センターに通室しており、将来、社会的に自立する力を付けられるように、学習支援や生活支援、カウンセリング等を、学校と協力しながら行っている。

令和6年度は学校(穂積地区)の校内教育支援センターに、教育相談員2名を配置する。

英語教育の推進 5,075万円 【学校教育課】

グローバル化に対応できる豊かな語学力やコミュニケーション能力、異文化を理解する力を身に付けた人材を育成するため英語教育推進事業を実施し、外国語教育の充実を図る。

- ・10名の外国人英語指導助手(ALT)を配置し、小中学校だけでなく保育所・幼稚園にも派遣
- ・英検IBAの実施
- ・(公財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料の一部助成

新規 水泳指導委託事業(生津小学校) 67万円

【学校教育課】

【現状】 小中学校プール施設の老朽化が進み、小学校7校うち5校のプール施設の築年数が40年超であり、今後、多額な維持管理費が必要となる。



民間企業に小学校の水泳指導を委託



【効果】 ・施設の維持費等の問題が解消できる ・プール管理の学校負担が解消できる
・屋内プールを使用するため、計画的に学習ができる
・インストラクターによる専門的な指導を受けることができる

拡充 私立保育所補助(公私連携型保育施設を含む) 4億5,556万円

(国庫3億3,018万円、県費1,710万円)

【幼児教育課】

私立保育所等の管理運営に寄与し、児童福祉の推進を図るため私立保育所等補助金や私立保育所施設整備補助金を交付する。

令和6年度は、保育所整備計画に基づく牛牧第1保育所の公私連携型保育施設への移行に伴う施設整備の補助金も交付する。

新規 保育業務支援システム構築(保育所ICT化) 5,000万円

(国庫2,499万円)

【幼児教育課】

- ・保護者アプリを活用した緊急連絡や連絡帳の導入
- ・タブレット端末による登降園管理や子どもの発達記録等の作成を電子化



【効果】 ・保護者の負担軽減になる。
・保育士が子どもと向き合う時間を増やし、働きがいの向上につなげる。



新規 地域クラブ活動の推進 1,660万円

【生涯学習課】

(県費1,340万円、諸収入315万円)

令和7年度末までを目途に、休日の部活動を地域クラブ活動へ移行する。

地域クラブ活動とは・・・

学校部活動の教育的意義や役割を継承・発展させながら、地域において、生涯にわたってスポーツ・文化等に親しむことができる土台となるもの

「地域の子どもたちは、地域で育てる」「子どもに軸足を置いた地域クラブ活動」の実現を目指す。

新規 「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催 650万円 【生涯学習課】

(財産収入70万円、ふるさと応援基金500万円)

「清流の国ぎふ」文化祭2024 「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」
第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭の開催県は 岐阜県 です

市の実行委員会では・・・

「将棋」をテーマとした、全国規模の交流事業を実施

全国文化交流事業として 「将棋フェスティバルin瑞穂」 を開催



中山道まちづくり基本構想推進事業(地方創生事業) 488万円

(国庫189万円)

【生涯学習課】



サンコーパレットパーク(中山道大月多目的広場)を地方創生の拠点として、中山道沿線の主要施設(小簾紅園・美江寺宿)をつなぎ、にぎわいを創出する。

令和6年度は基本構想推進及び社会実験としてにぎわい創りを実施する。



生涯学習施設等改修事業(各施設管理費) 2億6,011万円 【生涯学習課】

生涯学習施設維持管理計画に基づき、各施設の改修等を実施する。

- ・ココロかさなるCCNセンター(総合センター)
- ・サンシャインホールの座席起立システム修繕
- ・市民センターの電気設備改修
- ・巣南公民館多目的ホールの音響設備修繕
- ・西ふれあい広場の高木強剪定 など



拡充 瑞穂大学健幸学部の講義の充実 304万円

【生涯学習課】

「人生100年時代」が到来するなか、高齢者が健康で、生きがいをもち、生涯現役で活躍できる社会の実現が重要となっている。

急激に変化する社会情勢を理解し、社会的役割を担う存在であることを認識し、地域社会に参画・貢献する一員であり続けられるよう講義内容を創意工夫し、さらなる充実・拡大を図る。